

図 2-5 十勝岳周辺の温泉の温度(上)、Cl 濃度(中)、Cl/SO₄ モル比(下)の変化(～2021年6月)。
破線は噴火



図 2-6 振子沢噴気孔群の様子
(2021年6月撮影)。噴気域は
広範囲におよび、噴気活動も活
発(上写真:山頂側から撮影)。
噴気域は黒色のコークス状・土
砂状(下写真:454°C)。比較的
低温の噴気孔からは溶融硫黄
が噴き上げられている

3. 樽前山

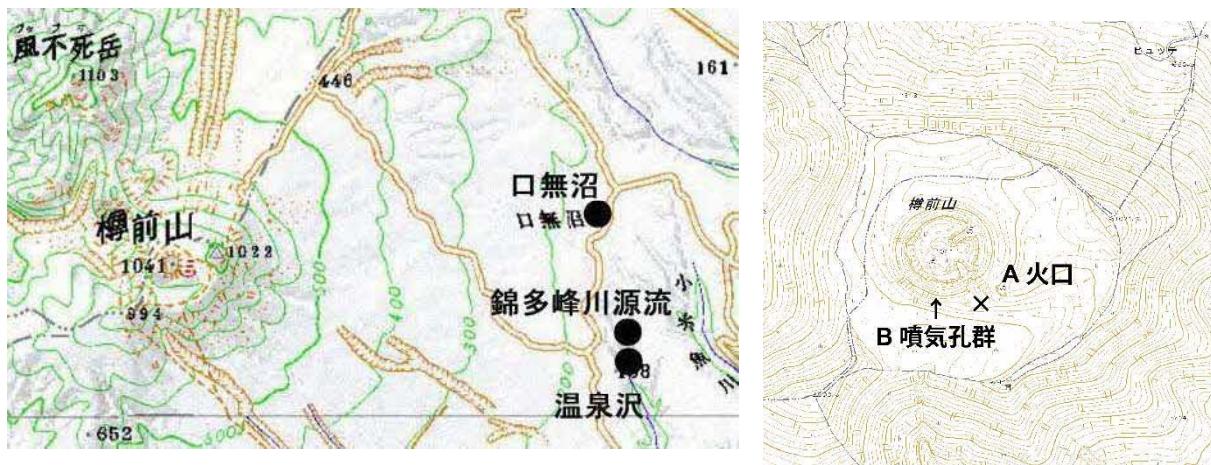


図 3-1 樽前山の観測点。左図：山麓の水質調査地点、右図：山頂部の噴気採取地点と地温連続観測点(×)

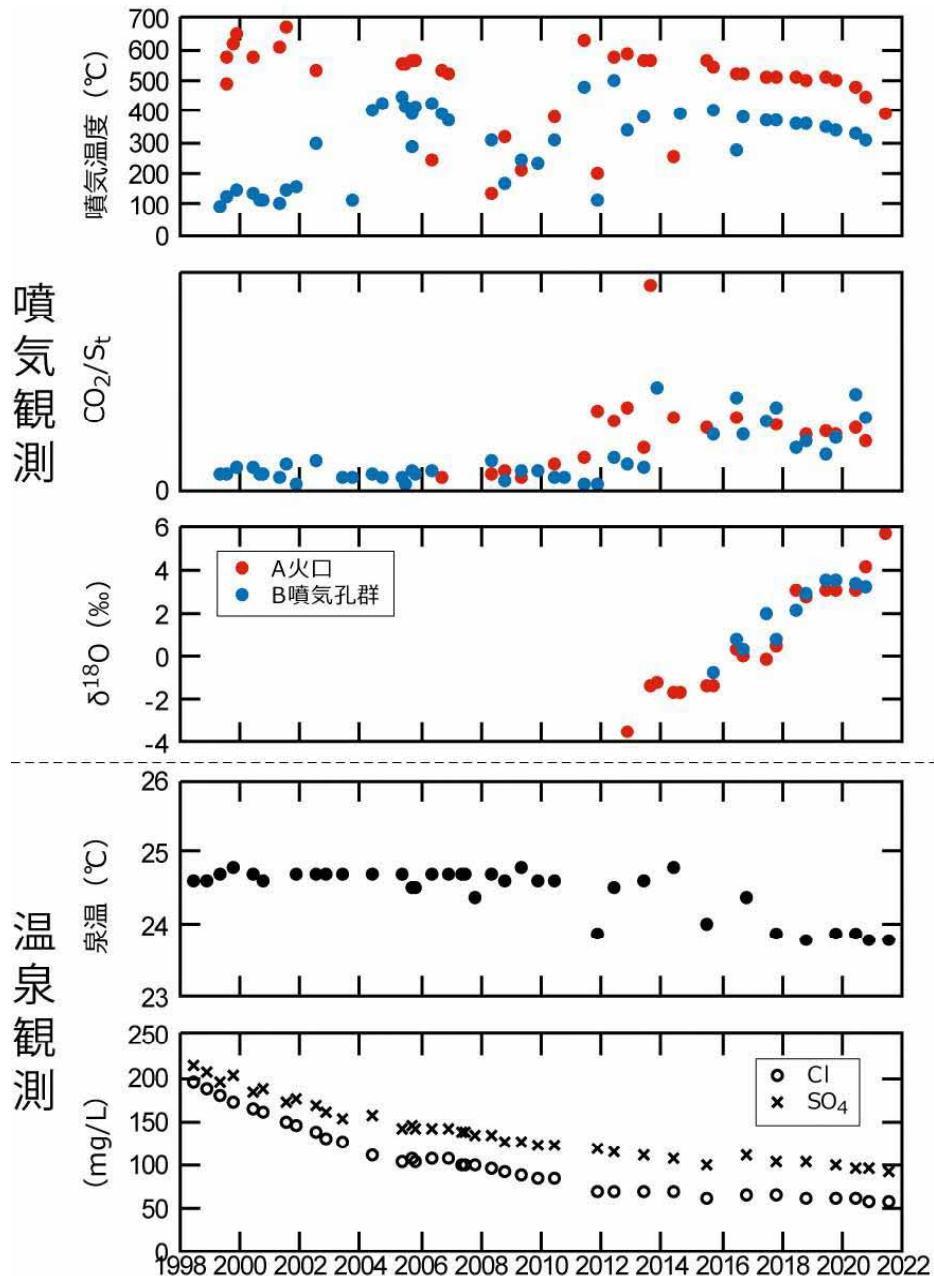


図 3-2 A火口とB噴気孔群での噴気観測の結果および温泉沢での温泉観測の結果

4. 倶多楽



図 4-1 温泉観測点位置図

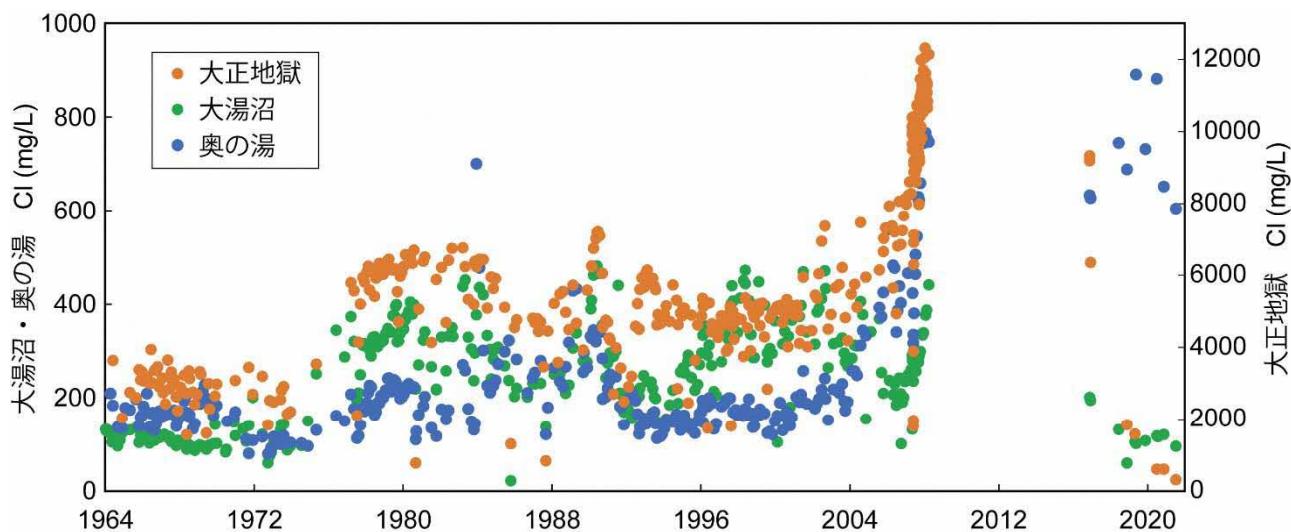


図 4-2 大正地獄、大湯沼、奥の湯の Cl 濃度の変化. 2008 年以前は安孫子(2008)のデータ

5. 有珠山



図 5-1 I 火口での噴気観測点(●)と KH-1(○)、洞爺 10 号井・共同 4 号井(●)の位置図.

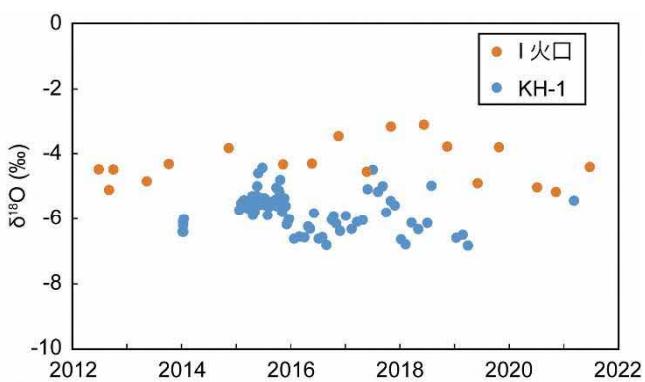


図 5-2 I 火口の噴気凝縮水と KH-1 の温泉水の酸素同位体比の時間変化

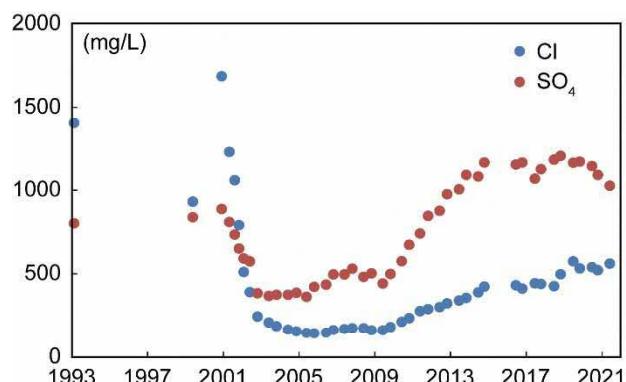


図 5-3 洞爺湖温泉(共同 4 号井)の温泉水の Cl および SO₄ 濃度の変化. 北海道立衛生研究所の分析データ

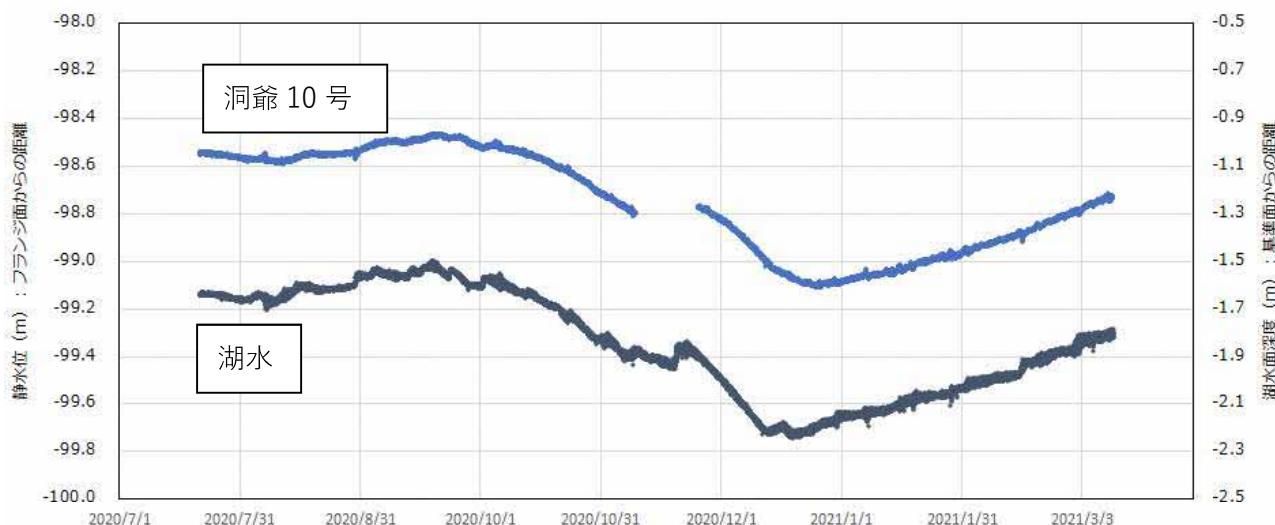


図 5-4 洞爺湖温泉(洞爺 10 号井)と洞爺湖の水位の変化

6. 北海道駒ヶ岳

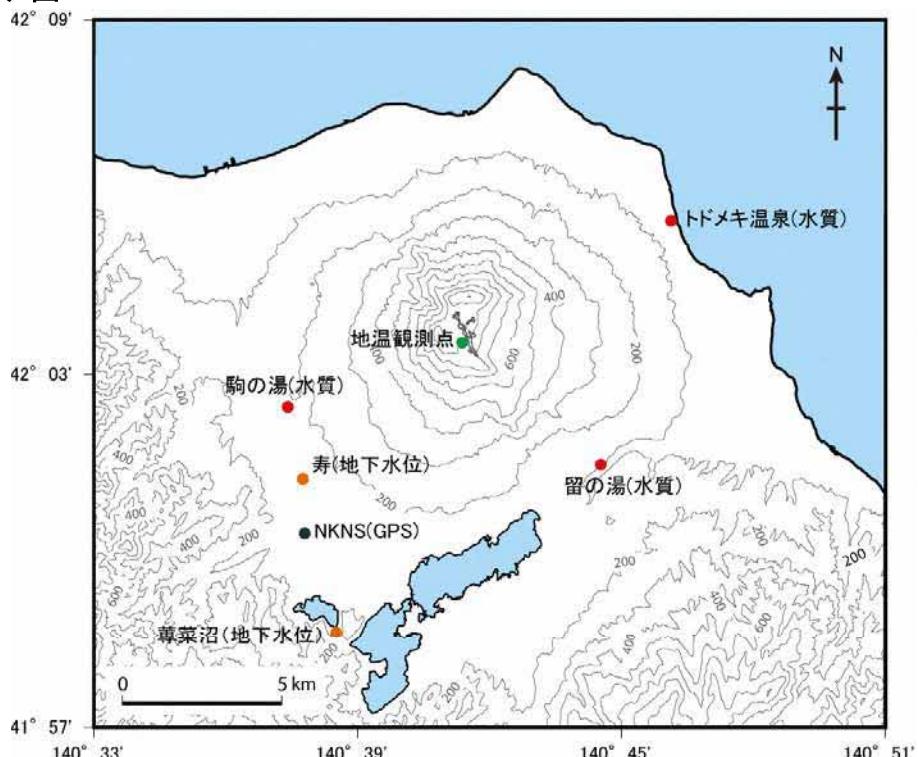
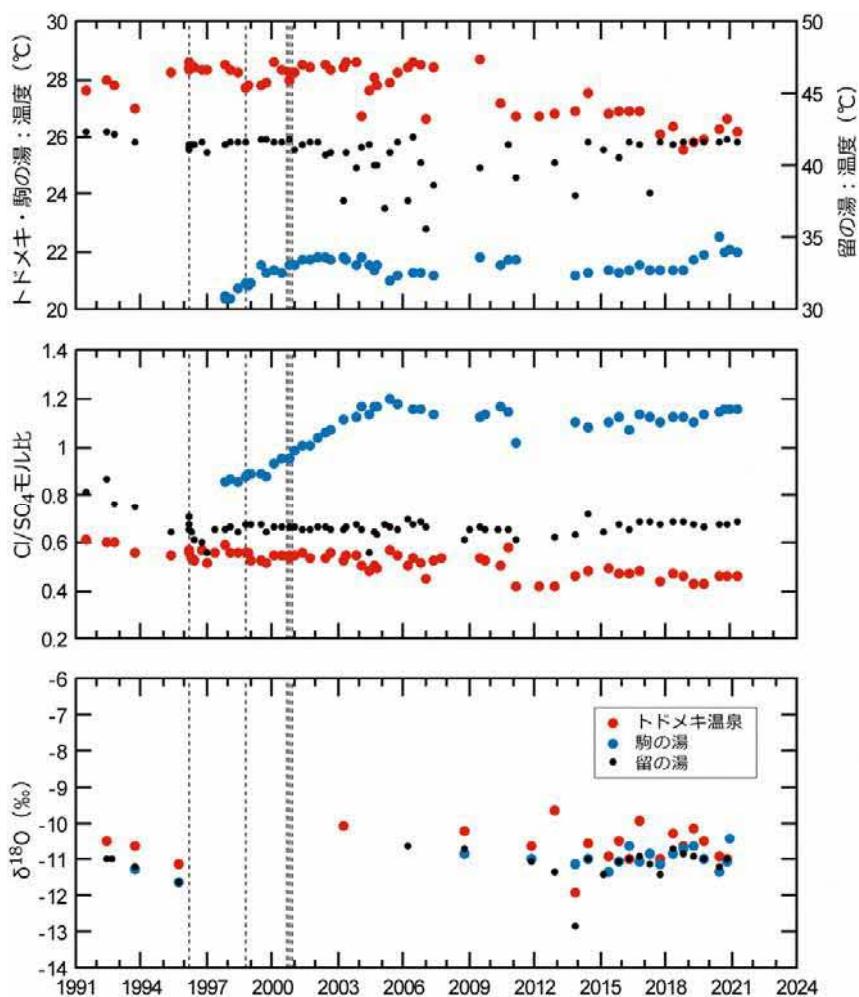


図 6-1 駒ヶ岳の観測点位置図

図 6-2 駒の湯・留の湯・トドメキ温泉における温度と Cl/SO₄ モル比、酸素同位体比の変化。
破線は水蒸気噴火